



会 社 名 岩崎通信機株式会社
 代表者名 代表取締役社長 社長執行役員
 近藤 恒男
 (コード番号 6704 東証第一部)
 問合せ先 取締役 執行役員
 西戸 徹
 TEL (03) 5370 - 5111

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 22年 11月 12日に公表した平成23年3月期(平成22年4月1日～平成23年3月31日)の通期の業績予想及び配当予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成23年 3月期通期連結業績予想数値の修正(平成 22年 4月 1日 ～ 平成 23年 3月 31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (平成 22年 11月 12日 発表)	28,700	0	0	△ 200	△ 1.98
今回修正予想(B)	27,100	△ 540	△ 460	4,090	40.69
増減額(B-A)	△ 1,600	△ 540	△ 460	4,290	42.67
増減率	△ 5.5	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成22年 3月期)	27,096	△ 1,430	△ 1,316	△ 2,114	△ 21.03

2. 業績予想修正の理由

当社では、平成22年9月7日に発表いたしました中期経営計画「Challenge & Innovation 2012」に則り、「挑戦」と「改革」の諸施策を遂行中であります。製版事業において、「挑戦」施策の一環として当期より新規参入するラベル印刷機の出荷開始が計画よりも遅れることを中心として、売上高が前回予想比約4億円の減となるほか、コンポーネント事業においては、昨年比増収となるものの部品市場の本格回復には至らず予想比4億円減、また、情報通信事業において、北米および国内市販の市場低迷が継続していることにより予想比約6億円減となり、連結売上高はほぼ前年実績並みとなる見通しであります。

利益面につきましては、「改革」施策により、売上構成が利益率の高い商品へシフトしていること、および経費圧縮などの改善を推進いたしましたことにより、前年実績より約9億円改善いたしますが、売上高が予想比減となることから連結営業損益は約5億円の損失、連結経常損益も約5億円の損失となり、予想額には至らない見通しであります。また、当第4四半期において、収用土地の引き渡し関連の特別利益約75億円、特別損失約5億円の計上および米国販売子会社の事業譲渡関連の特別損失約8億円を計上することに伴い、当期純損益は約41億円の利益(前回見通し2億円の損失)となる見込みであり、これらにより、通期の業績予想を修正するものであります。

特別損益の計上につきましては、本日発表の「収用土地の引き渡しに伴う特別利益および特別損失の計上に関するお知らせ」および「米国販売子会社の事業譲渡および解散ならびに特別損失計上に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 配当予想の修正の理由

上記の通り、当社の経営改革は道半ばではありますが、「収用土地の引き渡しに伴う特別利益」の計上に伴い、前回未定としておりました平成23年3月期(平成22年4月1日～平成23年3月31日)の期末配当につきまして、株主の皆様からの日頃のご支援にお応えすべく、1株当たり2円50銭の特別配当を、平成23年6月の第102回定時株主総会に付議する予定であります。

基準日	1株当たり配当金(円)				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
前回発表予想 (平成 22年 11月 12日 発表)	—	—	—	未定	未定
今回修正予想	—	—	—	2.5	2.5
当期実績	—	0.0	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成22年 3月期)	—	0.0	—	0.0	0.0

<業績予想に関する注意事項>

当資料に記載されている業績見通しおよび将来の予想に関する記述は、当社および当社グループにおいて現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績につきましては、さまざまな要素により、これら業績予想と大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。